

■地域別構想の構成について

「三郷市都市計画マスタープラン」の地域別構想は、市全体を5つの地域に区分し、全体構想との整合を図りつつ、地域別に課題を整理しながら、地域特性を活かした「将来イメージ」や「まちづくりの方針」を示します。

地域別構想

■ 地域別まちづくりの方針の主旨

- 全体構想を地域の特성에応じて、詳細に表現したもの
- それぞれの地域の特性を踏まえて策定する、身近な地域のまちづくりの方針

■ 地域別まちづくりの方針

- 1) 地域の沿革
- 2) 平成13年策定時のまちづくり懇談会からの意見・提言
- 3) 平成22年改訂時の市民アンケート調査による意向把握
- 4) 平成22年改訂時の地域別意見交換会からの意見・提言
- 5) 地域の課題
- 6) 将来イメージ
- 7) まちづくりの方針

5 地域ごとに方針を整理

【地域区分】



■地域別ワークショップ開催結果

令和2年10月から11月にかけて、市内5地域で実施しました。

地 域	日 時	会 場	参加者
東和	10月29日（木） 19時～21時	鷹野文化センター 大会議室 A	会場：9名
北部	11月5日（木） 19時～21時	瑞沼市民センター 多目的室	会場：8名
彦成	11月9日（月） 19時～21時	ピアラシティ交流センター 体験学習室 B	会場：8名
早稲田	11月16日（月） 19時～21時	文化会館 中会議室	会場：13名 リモート参加者：2名
中央	11月19日（木） 19時～21時	におどりプラザ 会議室 A	会場：10名

彦成地域ワークショップ結果

まちづくり課題図

生活

- 商業施設が少ないのでもう少し増えたらよい
- ゴミやタバコのポイ捨てが多い
- 小中学校の生徒数が中央地域よりも少ない
- 少子高齢化対策
- 旧道のお店が減った

土地利用

- 市街化調整区域の活用
- 農業従事者の高齢化と農地保全の検討
- 既存の市街化区域に活気がないため、用途地域の変更による沿道利用が必要
- 市街化調整区域の乱開発がひどい

道路

- 交通渋滞が多発している
- 道路や水路付近に水たまりができやすい
- 道路に街灯がなく暗い
- 二郷半領用水路の歩道は草や樹木が生えたまま管理されていない
- 住宅地への流入車両の増加
- 二郷半領用水路沿道の渋滞対策
- 旧道は狭く歩くのに危ない
- 国道 298 号・三郷ジャンクション付近の渋滞対策
- 狭い道路が多いため道路の拡幅整備

防災

- 彦江や花和田の一部は、内水被害があり治水対策が遅れている

公園・緑地

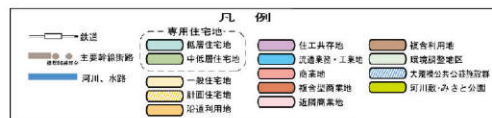
- 紅葉する樹木が少ない
- 緑地が減少している
- 歴史あるお寺を活かしたまちづくりをしてほしい

河川・水路

- 排水路が蓋掛けされていない場所があり危険

公共交通

- バスの便が悪く、車のない生活をしている人のことを考えてほしい
- バスの運行時間帯を朝早くから夜遅くしてほしい
- 地下鉄を延伸してほしい
- 三郷駅行きのバスがほとんどない



将来イメージ

平成 13 年当時の将来イメージ

『安全な交通網をめざし ふれあいと元氣あふれる 人の心が育つまち “彦成”』

地域の祭事、イベントの維持

活動しやすいまちになってほしい

町会の交流が活発になると良い

回遊性のあるまち→歩いて回る商店街

子育てしやすいまちをめざす

三郷で育ち成長できるまち

生活

他人への思いやりを持つようになってほしい

地域のふれあい、人とのふれあいを大切にしながら孫子の代にも誇れるまちをつくりたい

一人ひとり環境について意識を持つようになってほしい

高齢者にやさしいまち、歩きやすいまち

土地利用

広域交通を活かした土地利用

有効な土地利用により豊かな潤いのあるまちづくり

防災

治水インフラの推進

河川

中川堤防の景観維持

道路

歩行環境整備（高齢者・子供）

公共交通

高齢化を見ずえた市内移動手段の確保

充実した公共交通の整備

高齢化 免許返納

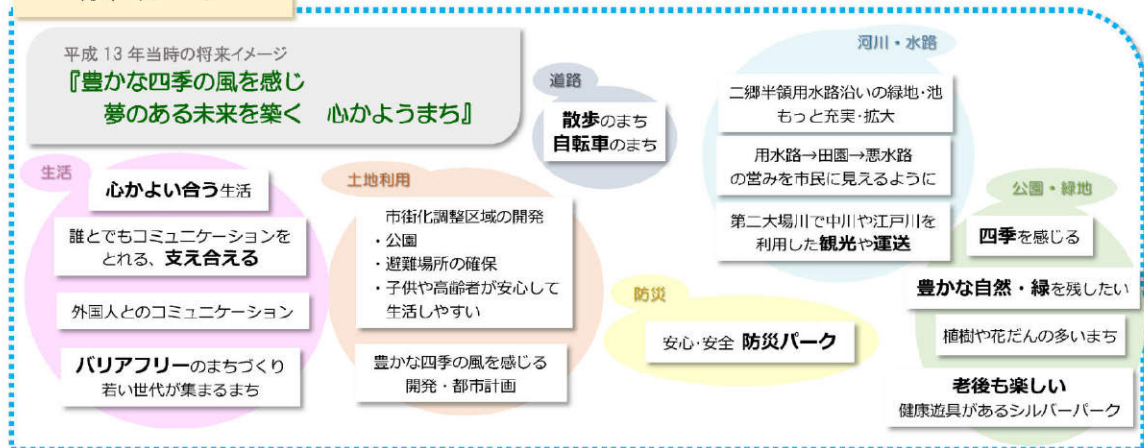
交通インフラの整備

北部地域ワークショップ結果

まちづくり課題図



将来イメージ

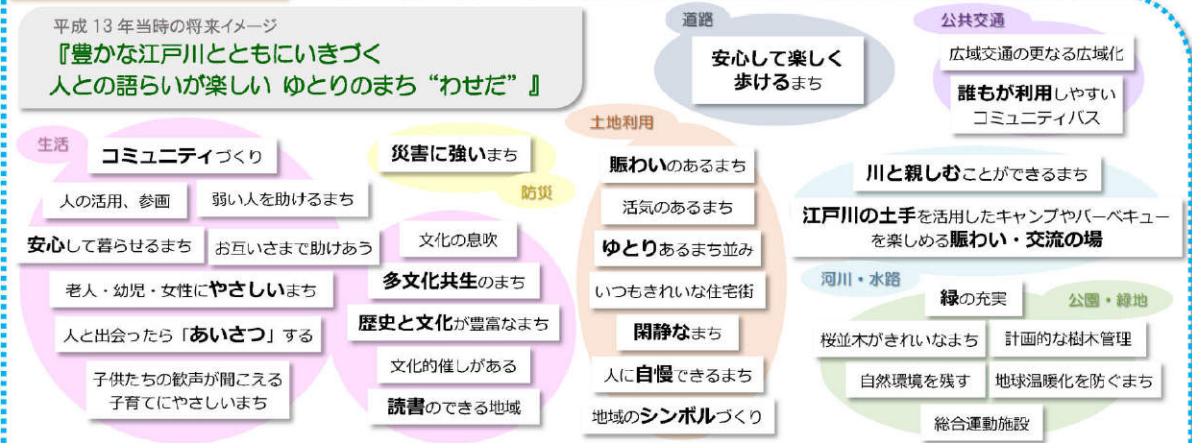


早稲田地域ワークショップ結果

まちづくり課題図



将来イメージ



中央地域ワークショップ結果

まちづくり課題図

生活

- 地域に集会所がない
- 生活動線が整理されてない
- 新型コロナウイルスによる店舗の撤退問題
 - ・夜道が暗くなり危険
 - ・地権者の減収、よって市税の減収
 - 都市計画税の緩和など救済措置が必要
- ゴミ収集のルールを守らない人がいるので戸別収集にした方が良い
- 子育て支援が必要
- 子どもが安心して遊べる施設（児童館等）が少ないため増やす必要がある
- 小学校の定員がパンク状態である

防災

- 災害発生時の対策に不安がある
- 人口が多いのに避難所が少ない

公園・緑地

- 緑を楽しみながら散歩、ウォーキングができる環境になっていない
- 江戸川河川敷が台風などで利用できずスカイパークを利用したい時に、当日空気があっても予約ができないので不便
- 三郷中央におどり公園はトイレ整備が必要

土地利用

- 市の核となる場所が有効活用されていない
- 市街化調整区域内の農地は転用しても出来るのは資材や残土置場、大型車の駐車場ばかりで困る
- 土地区画整理済みの地域とそれ以外の地域に差がある
- 三郷中央駅前展望が良くない
- 三郷駅から三郷中央駅間の市街化調整区域の活用が必要

道路

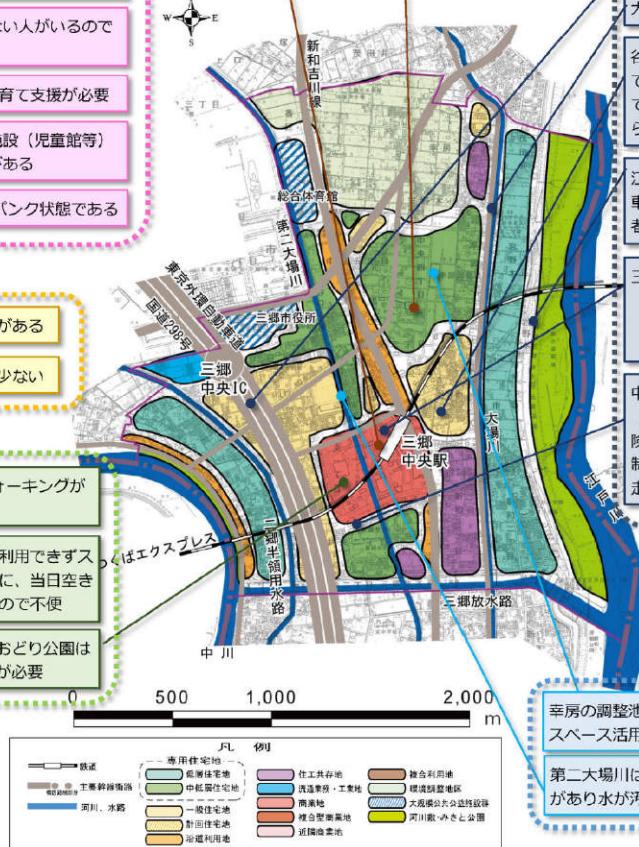
- 道路に一時停止が少ない為事故が多い
- 歩道が狭い所が多く危険である
- 街灯が少なく危ない
- 歩道の植栽の幅が広すぎる所がある
- 外環自動車道の排気ガスがひどい
- 大場川沿い道路は自転車通路がなく危険
- 谷中地区の道路が狭く大型車が通り抜けできない為、都市計画道路を早く整備してほしい（北通り線の延伸、中央地区から大場川まで）
- 江戸川河川敷沿いの道路は信号がなく、車がかなりスピードを出しており、歩行者は大変危険
- 三郷中央駅
 - ・駅前の歩道のタイル舗装が割れている
 - ・ロータリーの横断歩道は導線が考えられておらず歩きにくい
- 中央4、5丁目の道路には「止まれ」や「駐車禁止」などの標識がなく非常に危険である制限速度の標識がないため、60km/hで走っても違反にならない

公共交通

- 新三郷駅などへのアクセスが不便

河川・水路

- 幸房の調整池のスペース活用
- 汚水処理や下水道インフラ整備が必要
- 第二大場川は浮遊ゴミがあり水が汚い
- 用水路に蓋が掛けてない所があり危険



将来イメージ

平成13年当時の将来イメージ

『誰にでもやさしく自然と調和した
みんなでつくる 未来にははたぐときめきのまち』

- 三郷市を代表するまち
- 集いくなるまち
- ERのある大学病院の誘致
- 他のまちをまねるのではなく連携することによって魅力を発信できるまち
- 三郷の中心で愛を育む
- 利便性を高めるソフト対策の充実

- 住むことにステイタスを感じるまち
- 子供たちが成長した後も住み続けたいまち
- 資産価値が高いまち
- 3村合併の弊害をなくす地域ネットワークづくり
- 将来性を持続するまち (つくばエクスプレスの東京駅、湾岸エリア、羽田空港への延伸計画がある)

公共交通

三郷中央駅⇄三郷駅⇄ピラシティ
⇄県営みさと公園を結ぶ
におどり(モノ)レール!

河川・水路

ホタルが飛び交い
子どもが遊べる
第二大場川

公園・緑地

自然と調和した環境でウォーキングできる
(緑ネットワークと歩行者空間のネットワーク)

東和地域ワークショップ結果

まちづくり課題図

生活

- スーパーや商店が少ない
- 保育園に入れない
- 飛行機がうるさい
- 人が集える大きな拠点が無い
- 若い人が楽しめる場が少ない
- 図書館の蔵書不足と閉館が早い

防災

- 避難場所が不足している
- 水害時の広域連携が必要

公園・緑地

- 公園や緑が少ない
- 水辺に親しむ場所が少ない
- みさと公園は夜、暗く危ない

河川・水路

- 大場川の護岸に不備があり汚れている
- 水路はドブが多く、蓋がない所も多いため危ない

土地利用

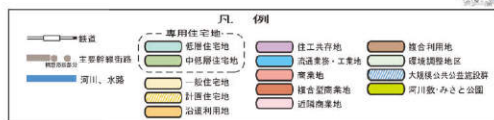
- 市街化調整区域が役割を果たしていない
- 市街化調整区域をなくし、良好な住宅地にしてほしい
- 住宅地と工業地が混在していて土地利用にまとまりがない
- 資材置き場の騒音やトラックによる砂ぼこりがひどい
- 産業廃棄物施設等により環境が悪化し学校等の文教地区が影響を受けている
- 高齢化で空き家が多くなり防犯面で不安がある

道路

- 歩道が狭い所や、ガードレール・白線がない所、歩道自体がない所が点在し、自転車道もないため歩行者が危険
- 街灯が少なく夜道が危険
- 道路に草が生えている所があり汚い
- 信号が多い
- 渋滞する道路が多く対策が必要
・松戸三郷線
・新中川橋 など
(戸ヶ崎交差点は解消してきた)
- トラックの往来が多く道路が痛んできている
- 国道 298 号側道の有効活用(公園化)

公共交通

- 市内公共施設や三郷中央へのアクセスが不便で、バス停までも遠いためバスを利用しづらい
- 葛飾区へのアクセスを向上させ、地域の活性化を促進してほしい



将来イメージ

平成 13 年当時の将来イメージ

『花と緑に彩られた 安心・安全・快適な
水辺を愛する やすらぎのまち “とうわ”』

人づくり

- 福祉ボランティア団体の設立
- 市だけに頼らない(自助)

人の集える
コミュニティの場
がある

若い人が行きたくなる
交流施設を

にぎわい
拠点

スポーツ環境が良い

土地利用

住宅地と工業地の棲み分け

計画性のあるまちづくり

現計画の将来イメージ通りに

環境の良い住宅地
静か、美しい、便利

雑草等が整備された
美観のあるまち

安心・安全・快適
健やかなまち

市内循環バス
の運行

公共交通

緑地

エコなまち
自給自足のまち

土がある
緑がある

河川・水路

河川と道路を整備

きれいな清流

下第二大場川の自然環境の維持